

Insights for Your Business

さすてな経営会計事務所

magazine Plus

04

Apr 2025

TAKE FREE



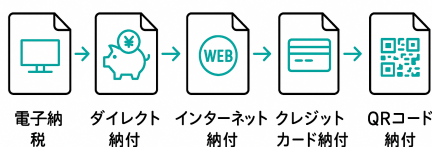
TOPICS

広がる税のキャッシュレス納付手段と
変更点を整理

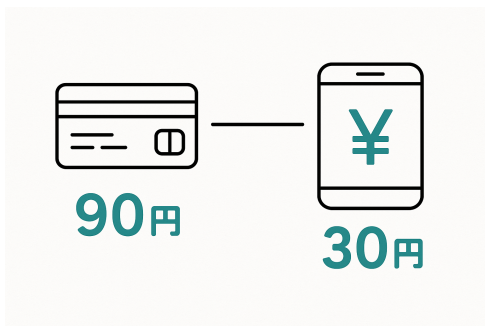
特別休暇制度の整備状況 産業別に導入
率を比較

広がる税のキャッシュレス 納付手段と変更点を整理

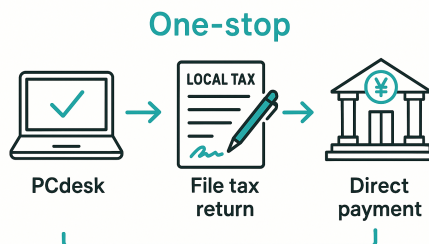
税務手続きの利便性が増す中、キャッシュレス納付の方法や手数料などに変更が加えられています。主な更新点を確認しましょう。



キャッシュレス納付とは、現金を使わず金融機関等の窓口に行かずに税を納める方法です。主な手段には、**電子納税**、**ダイレクト納付**、**インターネット納付**、**クレジットカード納付**、**スマートフォン納付**の5つがあります。



国税関連では、クレジットカード納付とスマホアプリ納付に変更がありました。**クレジットカード納付**では令和5年4月から、**手数料が1万円ごとに90円**となりました。**スマホアプリ納付**では2月1日以降、**付帯税額30円の手数料が課税**されます。



地方税に関しては、**ダイレクト納付**が改善されました。**PCdesk (DL版・WEB版)**を使えば、**2月24日以降**は納付手続きが一括で簡素化され、**ワンストップ**で完了できるようになっています。

ここがポイント!

- ・ 国税のクレジットカード納付では手数料が改定
- ・ スマホアプリ納付は30円の課税が追加
- ・ 地方税ダイレクト納付はワンストップ化

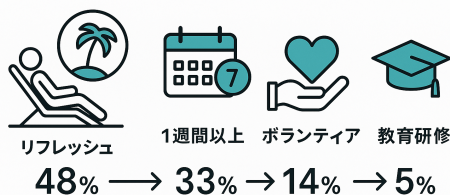
特別休暇制度の整備状況 産業別に導入率を比較

特別休暇制度の導入企業は全体の55.0%に増加。業種別にみると情報通信業や金融業が高水準で、制度の有無や利用実態に差が出ている

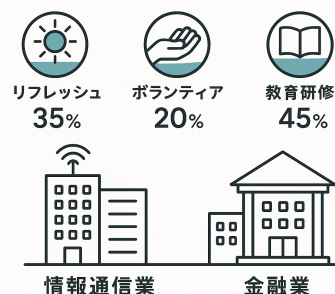


特別休暇制度を導入している企業は、調査対象全体で**55.0%**と、前年から4.9ポイント増加しました。産業別では**情報通信業 (80.0%)**や**金融業 (82.5%)**が高く、導入が進んでいます。一方、**教育・学習支援業 (51.5%)**などは平均を下回っています。

各種特別休暇



導入済み企業における特別休暇の種類別利用では、**リフレッシュ休暇 (14.7%)**の実績が最も高く、次いで**1週間以上の取得 (13.6%)**が続きます。**ボランティア休暇 (6.5%)**や**教育研修休暇**は全体では低めですが、業種により利用度に差があります。



情報通信業や金融業では、

- ・リフレッシュ休暇：25.0%以上
- ・ボランティア休暇：18.0~20.0%
- ・教育研修休暇：10.0%超

と、他業種に比べ利用実績が高めです。制度の有無だけでなく、実際の活用状況も働き方改革の指標となります。

ここがポイント!

- ・特別休暇制度の導入率は全体で55.0%に増加
- ・情報通信・金融業で利用実績が高水準
- ・制度の有無と実際の活用により業種差あり